

地域づくり推進事業

予算額 12,000千円 (R4 12,000千円)

1 事業の目的・概要

県内各地域において、それぞれの地域が持つ特性や強みを活かし、地域の活性化に向けた取組を推進していくため、県、市町村、地元関係者等が連携して地域振興策を検討します。

2 主な事業内容

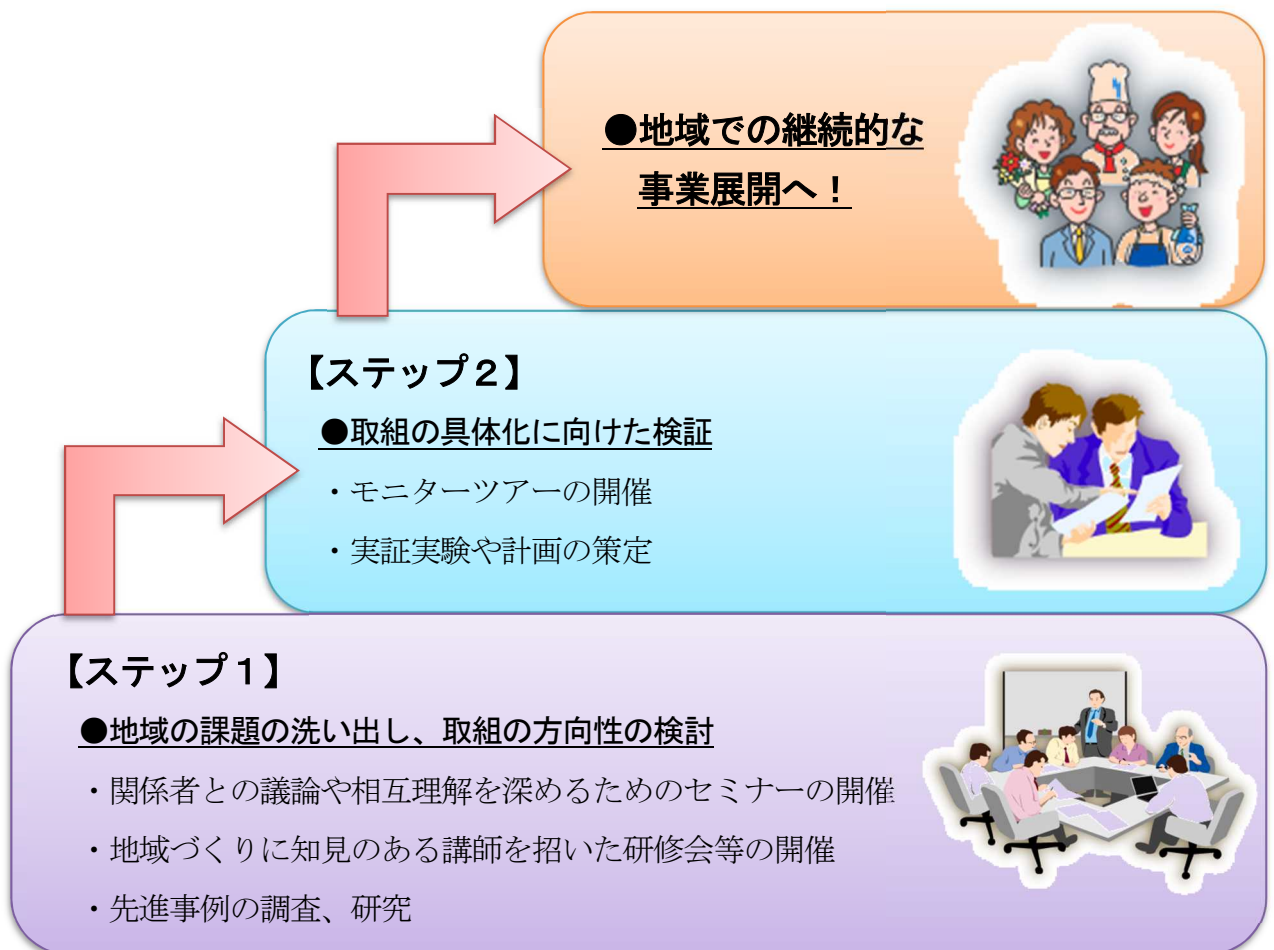
地域活性化につながる取組の具体化に向けて、以下のステップを踏んで検討を進めていきます。

ステップ1：地域の課題の洗い出し、取組の方向性の検討

ステップ2：取組の具体化に向けた検証

その後、検証結果を地域での継続的な事業展開につなげていきます。

〔事業イメージ〕



担当課・問い合わせ先
総合企画部地域づくり課
043-223-2232

移住・定住促進事業【一部新規】

予算額 49,922千円 (R4 35,000千円)

1 事業の目的・概要

テレワークや兼業・副業といった新しい働き方が浸透し、二地域居住など新しいライフスタイルへの関心が高まる中、二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、インフルエンサーによるSNS発信事業や都内での本県専任の移住相談員の配置を継続して実施します。

また、令和5年度は県内各市町村の移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトを新たに作成し、情報発信を強化します。

2 主な事業内容

(1) 移住に係るポータルサイトの作成【新規】 22,866千円

県内各市町村の移住関連情報、新しい働き方に関する情報などを一元的に発信するポータルサイトを作成します。

(2) 二地域居住SNS発信事業 6,000千円

インフルエンサーが実際に二地域居住を体験し、その様子や感想をSNSで発信することで、移住検討者に地域の暮らしぶりや魅力を体感してもらいます。

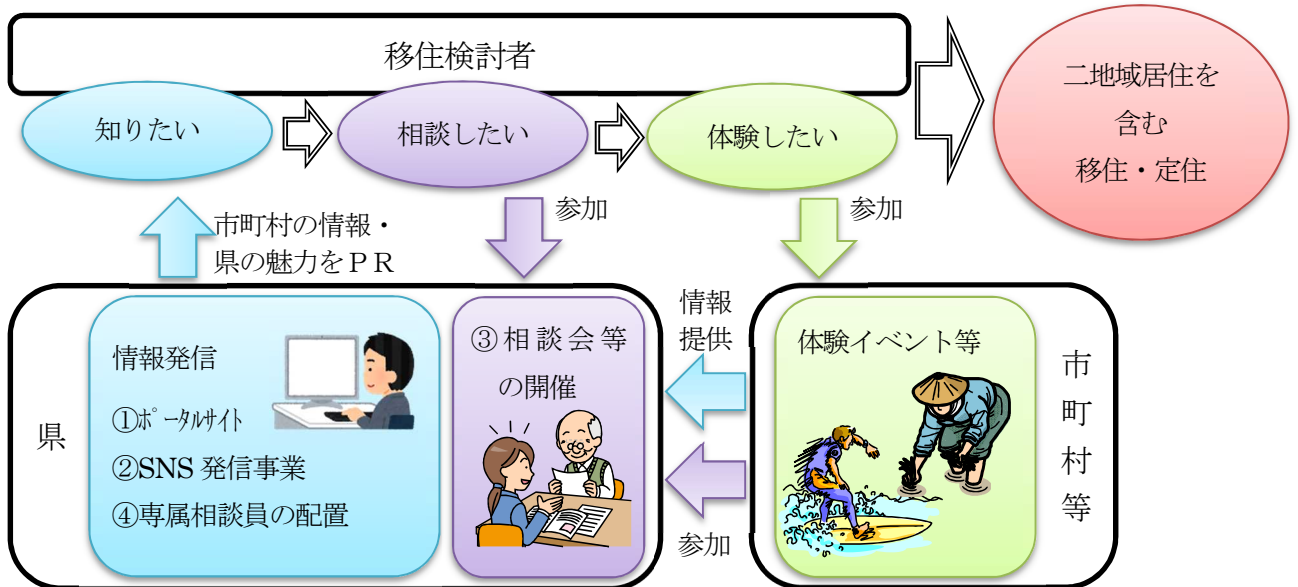
(3) 移住に関する相談会やイベント等の開催 6,479千円

市町村等と連携した合同移住相談会を都内で開催します。また、テレワークや農泊など、移住・二地域居住に関連する取組について、地域やテーマ毎のセミナーやイベント等を実施します。

(4) 専属相談員の配置 8,600千円

ふるさと回帰支援センターに千葉県専属の相談員を配置します。

[事業イメージ]



担当課・問い合わせ先
総合企画部地域づくり課
043-223-2232

副業人材マッチング支援事業【新規】

予算額 13,000千円

1 事業の目的・概要

副業という新しい働き方の普及は、地域の担い手を確保できる可能性が広がるほか、本県への移住促進や関係人口の創出に繋がることが期待されます。

このため、少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業等と豊富な知識・経験等を有する副業人材をマッチングし、地域の課題解決に資する企業等の取組を支援します。

2 事業内容

人材サービス会社が運営する「副業人材プラットフォーム」を活用し、県内各地域の金融機関、商工会などと連携して、地域企業等と副業人材をマッチングします。

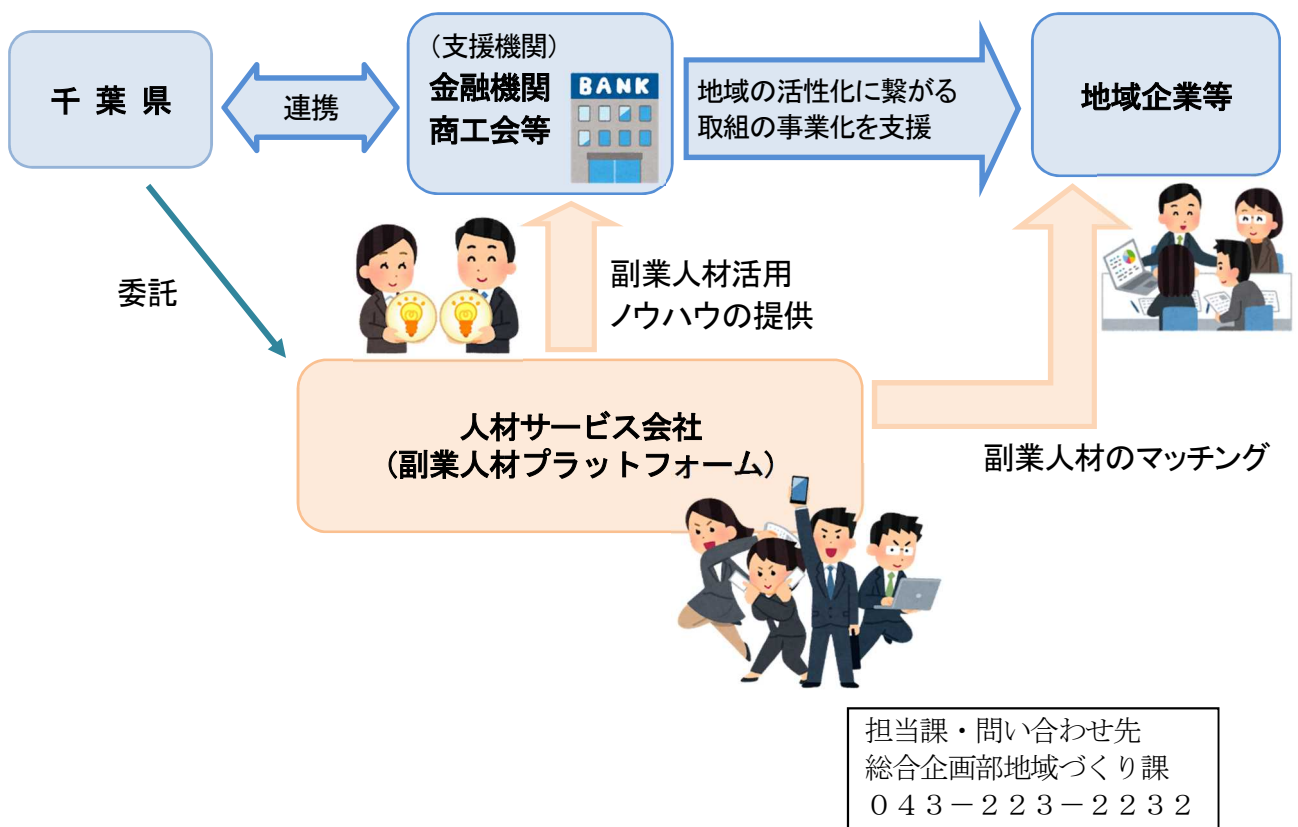
(1) 対象地域

県内7地域（香取、海匠、山武、長生、夷隅、安房、君津）

(2) 対象となる取組

- ・ 関係人口、二地域居住者、移住・定住の増加に資する取組
- ・ 地域を代表する物産の開発・生産など、地域のブランド形成に資する取組 等

[事業イメージ]



千葉の海の魅力発信事業【一部新規】〔一部再掲〕

予算額 165,000千円 (R4 95,500千円)

1 事業の目的・概要

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。令和5年度は、新たに「千葉の海・大使」を任命するなど、魅力発信のさらなる推進に取り組みます。

2 事業内容

(1) 「千葉の海・大使」等を活用した魅力発信【新規】 10,000千円

統一感のある魅力発信を一層推進するため、「千葉の海・大使」を任命するほか、本県の海の魅力をPRする新たなデザインやイメージカラーを周知・活用していきます。



(2) 千葉の海と水辺の魅力発信事業〔再掲〕 50,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力に注目し、効果的な手法・媒体を活用して、県内外にその魅力を発信していきます。

(3) GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業〔再掲〕 50,000千円

本県への誘客をさらに促進するため、千葉の海や歴史、文化などの魅力に触れられるスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

(4) 新しい千葉の食文化創生事業〔再掲〕 30,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながる料理として、令和4年度にコンセプトを作成した「黒アヒージョ」について、認知度の向上に向けた取組を実施します。

(5) 海の副読本制作事業【新規】 25,000千円

県内の小学生が郷土への興味関心を広げ、ふるさと「ちば」の価値を再認識するきっかけとするため、本県の海にまつわる歴史や文化、産業等を学ぶことができる副読本を制作し、授業等で活用します。

担当課・問い合わせ先

- (1) 環境生活部スポーツ・文化局文化振興課 043-223-3942
- (2) 総合企画部地域づくり課 043-223-2232
- (3) 商工労働部観光誘致促進課 043-223-2484
- (4) 農林水産部流通販売課 043-223-2959
- (5) 教育庁教育振興部学習指導課 043-223-4059

住宅用設備等脱炭素化促進事業【一部新規】

予算額 418,000千円 (R4 338,000千円)

1 事業の目的・概要

家庭におけるCO₂排出量削減や災害時における電源の確保を図るため、燃料電池（エネファーム）や蓄電池等の設置経費や、電気自動車やV2H充放電設備の導入に対し、引き続き助成します。また、新たに、電気自動車の導入が進まない集合住宅における充電設備の導入経費についても支援の対象に加えます。

2 事業内容

県補助金を活用して、市町村が脱炭素化に向けた住宅用設備等を導入する住民の方や集合住宅の管理組合等に補助金を交付します（市町村により補助対象設備は異なります）。

3 補助対象

○燃料電池（エネファーム）

都市ガス等と空気から電気とお湯を作り出す、エネルギー効率の高い家庭用のシステムです。

【補助単価】 10万円



○家庭用蓄電池

ためておいた電気を昼の電力需要ピーク時や太陽光発電のできない夜間に使用したり、災害時に使用できます。

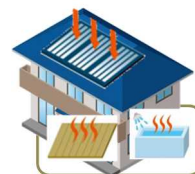
【補助単価】 7万円



○太陽熱利用システム

太陽の熱で水や空気を温め、給湯や暖房に利用するシステムです。

【補助単価】 5万円



○窓の断熱改修

夏場の熱流入、冬場の熱流出の主な要因である窓を改修し、断熱化を行います。

【補助単価】 補助率1/4（上限8万円）



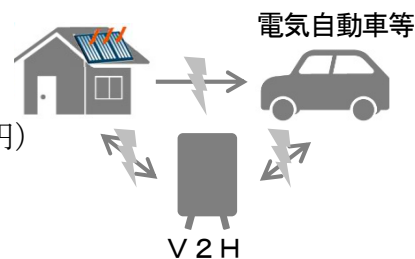
○電気自動車等・V2H充放電設備

災害時や夜間に、電気自動車等にためた電力を住宅で使用できます。（太陽光発電設備の併設が必要）

【補助単価】 V2H 補助率1/10（上限25万円）

電気自動車等 15万円（V2Hあり）

10万円（V2Hなし）



○集合住宅向け電気自動車等充電設備【新規】

【補助単価】 充電設備（住民のみ利用） 国補助の1/3（上限50万円）

（住民以外も利用）国補助の2/3（上限100万円）

住民の合意形成のための資料作成費 10万円



担当課・問い合わせ先

環境生活部温暖化対策推進課

043-223-4562

事業者向け脱炭素化促進事業【新規】

予算額 565,000千円

1 事業の目的・概要

本県の産業部門におけるカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、中小企業等の省エネ診断の受診費用や、診断結果等に基づいて実施する設備更新費用の一部を助成します。また、事業者等が建築する事務所等についてZEBやZEH-Mの導入に係る設計費用等の一部を助成します。

2 事業内容

(1) 業務用設備等脱炭素化促進事業 520,000千円

県内で事業を行う中小企業等が、省エネ診断を受診するなどして、省エネ等に資する設備を導入する場合において、その費用の一部を助成します。

[補助対象] 県内で事業を行う中小企業等で、「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に登録する者

[対象経費] ①省エネ診断の受診費用
②省エネ等に資する設備の導入費用（太陽光発電設備は対象外）
※太陽光発電設備は、共同購入支援事業を別途実施予定

[補助率等] ①省エネ診断に基づく事業等：1/2（補助限度額：1,000万円）
②簡易自己診断に基づく事業：1/4（補助限度額：500万円）
※限度額は一事業者当たり（限度内であれば複数事業所分の申請可）

[補助対象設備の例]



蓄電池



LED照明器具



高効率空調設備



省エネ型自然冷媒機器

(2) 業務用建物脱炭素化設計支援事業 45,000千円

県内でZEBやZEH-Mに係る設計検討及び省エネ計算を行う場合に、それに要する費用（上乗せ設計費）等について、その費用の1/2を補助します。

[補助対象]

県内で国のZEB化等支援制度の対象となる建築物の新築等を行う事業者

[対象経費]

ZEB等にかかる設計検討及び省エネ計算に要する費用（上乗せ設計費）等

[補助率等]

①延床面積が300㎡以上2,000㎡未満：1/2（補助限度額：150万円）
②延床面積が2,000㎡以上：1/2（補助限度額：300万円）

担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

事業者向け次世代自動車等導入促進事業【新規】

予算額 70,000 千円

1 事業目的・概要

運輸部門の脱炭素化を図るため、事業者がタクシーやバス、カーシェアリング等に次世代自動車を導入する経費について助成するほか、中小事業者による次世代自動車に係るインフラ設備導入経費について助成を行います。

2 事業の内容

(1) 地域交通等向け次世代自動車導入補助金 50,000 千円

[補助対象] 県内で、タクシー、バス、トラック、カーシェアリング及びレンタカーを導入する者（太陽光発電設備の併設が条件）

[対象経費] ① 次世代自動車の購入費

② ①にかかる設備（蓄電池・燃料供給設備）の購入費

[補助率等] ① 国の補助額の 1/2

② 蓄電池（1/6：上限 40 万円）

燃料供給設備（1/3：上限 30 万円）



EVバス
(イメージ)



EVカーシェアリング
(イメージ)

(2) 中小事業者向け次世代自動車用設備補助金 20,000 千円

[補助対象] 県内の中小事業者等（太陽光発電設備の併設が条件）

[対象経費] 蓄電池、V2H、燃料供給設備、外部給電器（可搬式）の購入費

[補助率等] 1/10（上限 25 万円）

※次世代自動車、燃料供給設備、V2H及び外部給電器の購入費に対しては国の補助があり、本事業は国庫補助の上乗せ補助となります。

担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

観光地におけるEV急速充電スタンド導入促進モデル事業【新規】

予算額 1,500千円

1 事業目的・概要

旅行者が電気自動車（EV）で県内観光できるよう、EV充電器の設置促進を図るなど、観光需要が高い安房地域でモデル事業を行います。

2 事業の内容

以下の事業を、観光関連事業者への委託により実施します。

(1) 対象モデル地域（想定） 館山市、鴨川市、南房総市

(2) 事業の流れ

①対象地域内の観光・宿泊施設や飲食店等に、訪問者が利用可能なEV充電器の設置を働きかけ

※「事業者向け次世代自動車等導入促進事業」の中小企業向け補助金等も活用

②施設等にEV訪問客向けの特典付与（例：駐車料金の割引やワンドリンクサービス）の協力も併せて依頼

③充電器設置場所や特典付与施設を1つの地図情報にまとめたWEBサイトを作成し、チラシ等と合わせたPRを実施

【事業イメージ】



担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

外来種特別対策事業

予算額 157,755千円 (R4 147,400千円)

1 事業の目的・概要

特定外来生物のうち、生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれがあり、特に対策が必要なキョン、アカゲザル、カミツキガメ、アライグマ等について、防除実施計画に基づき、早期防除を実施します。

2 主な事業内容

○キョン 36,694千円 (R4 32,007千円)

生息数の低減や分布拡大の防止・縮小を図るため、特に生息密度が高く捕獲圧が不足している地域や分布拡大が懸念される地域における県による集中的な捕獲に加え、より効果の高い捕獲方法の開発・実証に取り組みます。

〔防除実施地域〕 夷隅地域及びその周辺地域

○アカゲザル 58,262千円 (R4 57,330千円)

ニホンザルの地域個体群の保護及び農業被害等の防止のため、大型檻を使用した群れ単位での捕獲事業を実施します。また、これまでの生息状況調査の結果を受け、群れの北上を防ぐための新規檻の設置や、既存檻の修繕を行い、捕獲強化を図ります。

〔防除実施地域〕 房総半島南部

○カミツキガメ 41,492千円 (R4 37,658千円)

令和2年度に改定したカミツキガメ防除実施計画書に基づき、これまでに多数の生息が確認された水田周辺の水路等を中心に、集中的な捕獲に取り組みます。

令和5年度は、カミツキガメの局所的な根絶を実現するための試行を継続する他、4年ごとに実施する個体数の再推定により事業の効果を確認します。

〔防除実施地域〕 印旛沼水系

○アライグマ 16,247千円 (R4 20,205千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、アライグマ防除に関する普及啓発、捕獲技術向上のため講習会等を開催します。

また、生息状況や防除体制の状況に応じた対策を検討するため、モデル地区を設定して生息状況等の調査を行います。

〔防除実施地域〕 県内全域

キョン



アカゲザル
(池田文隆氏撮影)



カミツキガメ



アライグマ



担当課・問い合わせ先

環境生活部自然保護課 043-223-2975

湖沼における外来水生植物対策事業

予算額 329,316千円 (R4 249,674千円)

1 事業の目的・概要

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が、印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や、農業・漁業被害などが懸念されていることから、計画的な駆除を実施します。

また、市民団体が自主的に取り組む駆除活動に要する経費を支援します。



ナガエツルノゲイトウ



オオバナミズキンバイ

2 主な事業内容

(1) 手賀沼及び流域河川における計画的駆除

216,735 千円

令和2年度に開始した計画的駆除を引き続き実施します。
(大堀川、大津川、手賀沼北西部等)



(2) 印旛沼及び流域河川における計画的駆除

102,542 千円

令和4年度に開始した計画的駆除を引き続き実施します。
(西印旛沼等)



(3) 市民団体における外来水生植物防除事業補助

10,039 千円

市民団体が外来水生植物を駆除する活動に要する経費に対し、補助金を交付します。

[対象経費]刈取りを行う際の資機材の購入費・リース代、
駆除業者への委託費等
(団体の組織運営に係る経常的な経費は対象外)

[補助率] 対象経費の10分の10



担当課・問い合わせ先

環境生活部水質保全課 043-223-3814

若者が主役の環境保全活動応援事業【新規】

予算額 3,500千円

1 事業目的・概要

気候変動等の環境問題や SDGs への取組等、社会課題の解決に関心を持つ若者が増えていることを踏まえ、若者の創意工夫による環境保全活動の企画コンペを実施し、活動への支援や、地域団体や企業への橋渡しを行い、次代の環境保全活動をリードする若手人材の育成を図ります。

2 事業内容

① 課題の把握

環境保全に関する課題を抱える地域や、地域の課題解決に取り組む企業や団体等から募集するなどして、解決したい課題や若者に求める事柄等について把握します。

② 団体等の募集

若者主体の団体やグループを対象に、①で把握した「地域等における課題」や「応募者自ら設定した課題」の解決等に向けた企画を募集し、コンペを行います。

③ 活動の支援

- ・優秀な企画に対し、実際に活動することを条件に、最大50万円の賞金をもって、活動資金の支援を行います。(最大3件)
- ・選定された企画には、地域団体や企業等からも協力が受けられるよう県から周知や紹介を行うなど、継続したサポートを行います。



市民団体と連携した地域の竹害への取組



海洋プラスチックごみ問題に着目し、主体的に行う海岸の清掃活動

担当課・問い合わせ先
環境生活部循環型社会推進課
043-223-2634

千葉県誕生150周年記念事業の開催

予算額 467,000千円

1 事業の目的・概要

令和5年は、千葉県が設置されてから150周年目の節目の年となることから、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県全域で記念事業を展開します。

2 事業内容

(1) 記念事業の開催（市町村） 365,000千円

県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付します。

[補助割合] 補助対象経費の1/2以内

[補助上限] 人口5万人以上の市 10,000千円

人口5万人未満の市町村 5,000千円

※千葉の自然環境や「ちば文化資産」を活用する取組、複数団体による広域的な取組には加算を行います。



千葉県誕生150周年記念
ロゴマーク

(2) 県による事業全体の統括 102,000千円

交通広告やPRグッズの作成等の広報を展開するとともに、県全体の統一感を形成するため、テーマ・コンセプトの管理、市町村へのアドバイス等を行います。

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

「県民の日」事業

予算額 75,000千円 (R4 75,000千円)

(債務負担行為 38,000千円)

1 事業の目的・概要

幅広い世代の県民が、「県民の日」を通してふるさと千葉の魅力を再発見できるよう毎年開催している記念行事について、令和5年度から6年度にかけては、千葉県誕生150周年記念事業の一環として実施します

2 事業内容

(1) オープニングイベントの開催 35,000千円

令和5年度は、市制80周年を迎える松戸市において、150周年記念事業のスタートを切る式典として、県民参加・体験型のオープニングイベントを開催します。



(2) 県民の日150周年地域行事 37,000千円

地域振興事務所のある10地域及び文化振興課の合計11地域で県民の日地域実行委員会を組織し、各地域実行委員会が実施する150周年地域行事に係る経費に対し交付金を交付します。

(3) 県民の日事業の広報 3,000千円

オープニングイベントや県民の日150周年地域行事、県内の施設・団体が実施する賛同行事を広く県民に周知するため、リーフレット・パンフレット等を作成し、県内市町村や学校等に配布します。

(4) 令和6年度事業の準備(フィナーレイベント等) (債務負担行為 38,000千円)

150周年記念事業のフィナーレイベントを、6月に開催することとし、準備を進めます。

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

千葉県誕生150周年記念関連事業

予算額 571,810千円

(債務負担行為 33,000千円)

1 事業の目的・概要

千葉県誕生150周年記念事業に合わせて、民間企業との連携や文化交流等の事業を展開します。

2 主な事業内容

(1) 千葉県誕生 150 周年・株式会社オリエンタルランドとの連携事業【新規】

11,000 千円

千葉県誕生 150 周年を記念して、株式会社オリエンタルランドと連携した文化イベント等を実施します。

(2) オランダとの文化交流事業【新規】 20,000 千円

東京 2020 大会を契機に、本県がホストタウンとなったオランダ王国との文化交流を深めるため、同国出身の世界的アーティスト、テオ・ヤンセン氏の企画展を県立美術館で実施します。

(3) 千葉県誕生 150 周年記念コンサート【新規】 5,000 千円

県内唯一のプロオーケストラである千葉交響楽団による記念コンサートを実施します。

(4) 中央博物館特別展の開催 34,600 千円 (債務負担行為 20,000 千円)

中央博物館において、令和 5 年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」と令和 6 年度特別展「海のお祝い 万祝 (仮称)」を開催します。

(5) 千葉県誕生 150 周年記念誌の作成【新規】 3,000 千円 (債務負担行為 13,000 千円)

千葉県の 150 年間のあゆみと千葉県誕生 150 周年記念事業の記録をまとめた記念誌を作成します。

(6) 産業系県立高等学校における千葉県誕生 150 周年記念事業【新規】 1,500 千円

産業系の県立高校で作成した生産物を各種イベントにおいて販売するほか、150 周年をテーマとした課題研究・発表会等に取り組むなど、産業系県立高校の魅力発信を行います。

(7) 特別支援学校における記念製品制作事業【新規】 8,200 千円

特別支援学校の作業学習等で記念製品を制作して販売するほか、インターネット上の仮想空間(メタバース)に特別支援学校のブースを設置し、郷土や学校の魅力等を紹介するバーチャルイベントを開催します。

担当課・問い合わせ先

環境生活部スポーツ・文化局文化振興課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 9 4 2
教育庁企画管理部教育政策課(県立高校)	0 4 3 - 2 2 3 - 4 1 7 4
教育庁教育振興部特別支援教育課(特別支援学校)	0 4 3 - 2 2 3 - 4 2 3 0

アーティスト・フォローアップモデル事業【新規】

予算額 12,000千円
(債務負担行為 16,000千円)

1 事業の目的・概要

本県の将来の文化芸術の担い手を育成するため、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストのキャリア形成を支援するモデル事業を実施します。

2 支援対象

- ・県内に在住、在学又は千葉県を活動拠点とする者
- ・39歳以下の者

3 対象分野

美術、デザイン、音楽、ダンス

4 事業内容

○アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援（伴走型）

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援に加えて人的支援（専門家によるサポート等）を実施

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）
- ・活動場所、機材や作品の保管場所等の紹介
- ・作品制作及びキャリア形成に関する助言

○新たな創造に繋がる芸術活動の支援（テーマ設定型）

[テーマ] 東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境（海、里山、川、水辺）を活かす芸術創造活動

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援を実施

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）

担当課・問い合わせ先

環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

043-223-3942

千葉交響楽団関連事業【一部新規】〔一部再掲〕

予算額 81,747千円 (R4 73,898千円)

1 事業の目的・概要

千葉交響楽団が県内唯一のプロオーケストラとして、県民から広く認知・支持されることで経営基盤を確立し、演奏活動等を通じて本県の文化の発展に貢献できるよう、積極的に公演回数を増やしていくほか、令和5年度は、千葉県誕生150周年記念コンサートを開催します。

2 事業内容

- (1) 運営費補助 24,676千円

楽団の運営に係る費用の一部等を補助します。

- (2) 定期・特別演奏会支援補助【新規】 4,000千円

自主演奏会の拡充のため経費の一部を補助します。

- (3) 学校における芸術鑑賞事業 27,250千円

小・中・高校及び県立特別支援学校において巡回公演を開催し子供達が生の音楽を聴く機会を提供します。

- (4) 県民芸術劇場公演事業 19,781千円

県民に音楽鑑賞の機会を提供するため、市町村等の地元主催者と県が共催し演奏会を開催します。

- (5) 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業 1,040千円

小・中学校に演奏者を派遣し実技指導を行い部活動等の演奏力向上を図ります。

- (6) 千葉県誕生150周年記念コンサート

【新規】〔再掲〕 5,000千円

県誕生150周年を記念しコンサートを開催します。



ニューイヤークンサート



学校音楽鑑賞教室



伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業



千葉交響楽団

担当課・問い合わせ先

環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

043-223-3942

国際境界模式地（GSSP）関係遺産保存活用等支援事業【新規】

予算額 30,000千円

1 事業の目的・概要

国際境界模式地（GSSP）に認定された市原市田淵の地層（いわゆる「チバニアン（※）」の地層）は、世界水準の価値を有する貴重な文化財であり、地層及び周辺地域が整備・公開されることにより、校外学習等を通じて子供たちの自然科学への興味関心を高めるなどの効果が期待できることから、市原市が行う整備事業に対し、国庫補助への上乗せ補助を行います。

※市原市田淵の養老川河岸の地層は、国際地質学連合（IUGS）により国際境界模式地に認定され、77万4千年前から12万9千年前までの地質時代区分が「チバニアン」と名付けられています。

2 事業内容

市原市が行う天然記念物の整備事業のうち、教育効果が期待できる地層の見学施設等の整備に対して助成します。

[補助率] 国庫補助額を控除した額の1/2以内



国際境界模式地（GSSP）の崖に設置された
ゴールドenspイク



天然記念物養老川流域田淵の地磁気逆転地層
(国際境界模式地の遠景)

担当課・問い合わせ先
教育庁教育振興部文化財課
043-223-4085

中央博物館リニューアル事業

予算額 35,000千円 (R4 5,000千円)

1 事業の目的・概要

中央博物館について、県内における博物館の活動拠点としての役割の強化に向けて、今後、施設の改修や展示の見直しを進めていくための基本計画を策定します。

2 事業内容

令和4年度に策定を進めている「千葉県立中央博物館機能強化実施方策（仮称）」に基づき、開館以来更新されていない展示の見直しや収蔵品等の集約、機能強化を図る本館及び収蔵庫の改修に向けた課題整理などを行い、リニューアル基本計画を策定します。

- リニューアル基本計画策定委託
- 有識者会議

3 計画の内容

- 収蔵品の集約 廃止や地元市町への移譲等を検討している博物館からの集約
- 展示の見直し
- 施設の機能強化 ショップ、レストランの魅力向上等
- 事業スケジュール策定
- 概算事業費の算定 等



中央博物館 外観



分類展示室「マッコウクジラ」

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

ちばアクアラインマラソン開催事業

予算額 49,000千円 (R4 135,900千円)
(債務負担行為 137,000千円)

1 事業の目的・概要

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、令和6年度の「ちばアクアラインマラソン」開催に向けて、運営方法の検討やPR活動を実施します。

また、開催に係る準備に2か年を要することから、債務負担行為を設定します。

2 事業内容（令和5年度）

- 運営方法の検討、実施計画の作成
- PRグッズの作成、PR活動の展開
- 募集要項の作成・配布
- 大会公式HP・SNS等による大会情報の発信 等

スタート地点



大会当日のアクアライン



PRイベント



東京湾アクアラインを走るランナー



担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

外房サーフィン振興事業【新規】

予算額 10,000千円

1 事業の目的・概要

東京2020大会のレガシーとして、本県でサーフィンを楽しむ人を増やすとともに、参加者と地域の交流や、スポーツを核とした地域の活性化を促進するため、地元市町村等と連携して、サーフィン体験会やサーフ文化の発信イベントを開催します。

2 事業内容

(1) サーフィン体験会の実施

外房地域の地元市町村等と連携し、サーフィン体験会を実施します。

(2) 体験会に併せたサーフ文化発信イベントの実施

地域の方との交流や、地域やサーフ文化への理解の促進を図るため、サーフィン体験会と同時に、隣接する会場でサーフ文化発信のための各種イベントを実施します。

(例) まち巡りサイクリングツアー、ワークショップ、出店、移住・定住PR 等



担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

パラスポーツ振興事業

予算額 52,600千円 (R4 45,620千円)

1 事業の目的・概要

パラスポーツの理解促進を図るとともに、障害のある人が県内のすべての地域でスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

2 主な事業内容

(1) パラスポーツフェスタ開催事業 7,500 千円

①パラスポーツフェスタちば開催事業、②パラスポーツフェスタとうかつ開催事業

障害の有無に関わらず、様々な方々が参加し、パラスポーツを通じて交流できる体験会や対抗戦を実施し、パラスポーツの普及を図ります。

(2) パラスポーツコーディネーター派遣事業 12,200 千円

市町村や地域のスポーツクラブ、障害者施設、競技団体、学校等が一体となり、主体的にパラスポーツの体験会や教室等を開催する場合に、市町村等へコーディネーターを派遣し、開催を支援します。

(3) パラスポーツ競技団体支援事業 5,200 千円

パラスポーツの競技団体の活性化や競技人口等の増加を図るため、競技団体等が競技の普及のために実施する体験会等に対し、助成を行います。

(4) パラアスリート等学校訪問事業 11,855 千円

県内の小中学校に加え、新たに県立特別支援学校にもパラアスリート等を派遣し、講演会やパラスポーツ体験会を実施することで、パラスポーツの普及を図ります。



パラスポーツフェスタちば



パラアスリート等学校訪問

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

「新たなスポーツ」の普及促進事業

予算額 14,000千円 (R4 8,500千円)

1 事業の目的・概要

それぞれのライフステージに応じて取り組むことができるスポーツの選択肢を増やし、あらゆる人が日常的にスポーツに親しめるよう、ユニバーサルスポーツ(※1)、アーバンスポーツ(※2)、バーチャルスポーツ(※3)といった「新たなスポーツ」の周知・普及促進を図ります。

※1…障害の有無や年齢に関係なく、様々な人が一緒にできるレクリエーションの性質を含むスポーツ
(ボッチャ、ペタンク等)

※2…広い競技場などを必要とせず都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ
(BMX、スケートボード等)

※3…身体運動に連動して画面上のアバター(自分の分身)が動く等のスポーツ
(バーチャルサイクリング、バーチャルフェンシング等)



<ユニバーサルスポーツの例>



<アーバンスポーツの例>



<バーチャルスポーツの例>

2 主な事業内容

(1) ユニバーサルスポーツ

老人クラブや子供会などの団体を対象に、競技団体等による本県発祥のユニバーサルスポーツ等の出張体験会を行い、運動実施を促進します。

(2) アーバンスポーツ

スケートボード、BMX等のアーバンスポーツの体験会を県内の各地域で実施します。
また、普及と併せ、アーバンスポーツのマナーを啓発する動画を作成します。

(3) バーチャルスポーツ

スポーツジム・高齢者施設等に機材を試験的に設置し、利用状況や導入可否等を調査するとともに、バーチャルサイクリングのオリジナルコースを用いて、県主催の大会を実施します。

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

総合スポーツセンター体育館整備事業

予算額 158,678千円 (R4 25,000千円)

(債務負担行為 160,000千円)

1 事業の目的・概要

令和元年台風第15号の被害により利用停止中の総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地建替えを行います。

2 事業内容

令和5年度は建替えに向けた基本設計等を実施します。

基本設計	67,000千円
解体設計	22,000千円
地質調査	55,678千円
備品移動	14,000千円
実施設計	(債務負担行為 160,000千円)

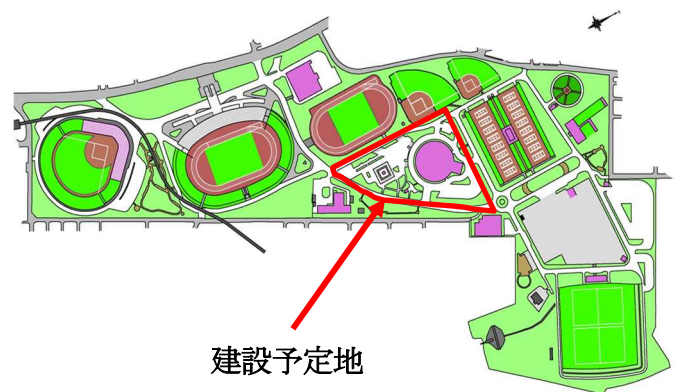
3 整備のコンセプト

ジュニアからシニアまでの全ての年代の競技スポーツの一大拠点

- ①様々な大会が開催され競技スポーツの開催拠点となる体育館
- ②県民が日常的にスポーツ活動や健康づくりに親しむことができる体育館
- ③スポーツ選手・指導者の強化・育成拠点となる体育館

4 主な施設構成と機能

延床面積：11,000㎡程度
敷地面積：31,173㎡程度
建 物：地上2階又は3階
アリーナ面積：約4,186㎡ (バスケットコート約4面)
観 客 席：2,500席程度



5 事業スケジュール

令和5年度 : 基本設計、解体設計、地質調査、備品移動
令和6年度以降 : 実施設計、解体工事、建築工事、外構工事 等
令和10年度中 : 供用開始予定

担当課・問い合わせ先
環境生活部競技スポーツ振興課
043-223-4106

障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業

予算額 7,700千円 (R4 3,300千円)

(債務負担行為 193,000千円)

1 事業の目的・概要

障害者スポーツ・レクリエーションセンターについて、利用環境の改善を図るため、体育室の空調設備を整備します。

2 事業内容

- (1) 実施設計 7,700 千円
- (2) 空調整備工事 (債務負担行為 193,000 千円)

3 空調方式 空気循環方式 (EHP 直膨式エアハンドリングユニット)

4 完成予定 令和 6 年度

【参考】

所在地：千葉市稲毛区天台 6-5-1

建築年：昭和 60 年 6 月 (築 37 年)

延床面積：1,496.03 m² (うち体育室 726 m²)

構造：RC 造平屋建

利用者数：20,606 名 (令和 3 年度)



<施設外観>



<体育室>

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434